



校長 第六代柳橋敬一郎校長には若い頃、明和高校時代にご指導を受け、また歴代校長先生には県教育委員会に在籍時代からご厚誼を受けていましたので本校を興味深く注目していました。着任は誠に光栄のいたりです。

新たな伝統の 継承をめざして

校長
新屋哲夫

県教育委員会に表彰を受けましたが、審査員の一人として、生徒の体力・運動能力の平均が抜群に秀れ、且つ総合体育大会に尾張地区二年連続優勝と学校の部活動活性化が強く印象に残り一票を投じた記憶があります。

三月は、東京大、京都大、地元名古屋大

貴花田は十七才で人気選手。テニスの女王グラフも、全仏オープンのマイケル・チャンも十七才でデビューした。同

に深く敬意を表している次第です。この三つの基盤を確実に継承し、新しい時代の波にも、高校入試制度改革の波にも動することなく、みなさんの母校を更に一流校へと夢を抱いています。朝まで「試合は勝て」と激をとばしまし

教育効果をあげるには、よき施設、よき指導者、よき組織、よき生徒の四本柱が必要といわれます。施設は継ぎたしの古い校舎ですが、あと三本柱が誠に充実度す。

同窓会員 員の皆様方におかれましては、それぞれの職場、家庭、あるいは進学先において健や

同窓会書記
浅野良二

浅野良一

同窓会

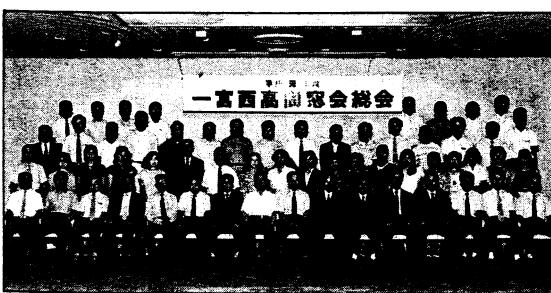
日頃は本同窓会の発展のためにお力添えをいただきまして、深く感謝申し上げます。

る幹事会への出席者が少なく、そのためほとんどの運営が事務局まかせという現況です。また組織が新しく、未熟で力不足なため、やむをえないことでしょうが全体として盛り上りを欠くことは否めま

私は組織づくりの一環として事務局の内山先生から昭和60年に常任幹事（全日本連合会）を依頼されました。そして昭和63年、同窓会規則改正に伴い、書記に選出されました。さて、私が昭和60年以来今日まで、西高の同窓会活動に関わってきてよく思う

の年から本格的な憲憲会活動が始り、毎年の総会の開催と会報の発行、そしてそのための組織づくりが推し進められてきました。その点で本憲憲会の歴史はまだ浅いと言えます。

せん。
3年後の平成5年度には30周年をむかえます。同窓会としては記念事業を計画しています。そして30周年を機に総会の運営を特定の卒業回にお任せしようとい



昨年度の総会



同窓会総会を左記の要領で実施いたします。多数の御出席を心待ちにいたしております。

- 日時 八月五日(日)
- 十二時 総会
- 十三時 親親会
- 場所 真清田神社 参集殿
- 会費 一千円写真代を含む

なお、準備の都合上、出欠席の葉書を七月二十五日迄にお出し下さるようお願ひします。

総会のお知らせ

同窓生近況

「海外青年協力隊に

参加して」

14回生 楠田一千代

日本に戻ってから一年余り。そして出発の日まであと三ヶ月。

三年前、青年海外協力隊獣医隊員として西アフリカ・セネガル共和国へ。二年間、水道、電気のない村で、村人と時にはぶつかり、酒を酌み交わし、助け合い過ごしてきた。満月の晩の巨大で明るい月。

月のない夜には息が詰まるくらいに空一杯にちらばる星たち。黒くぶ厚い雲が空を覆い激しい雨が地上を打ち、乾期には枯れ草を焦がす強烈な太陽。

一日中視界を遮り大気を黄色に染める砂風。みんなアフリカだった。そこに住む人々からは多くの事を学んだ気がする。自然に逆らわない、あるがままの生き方。よく言われる事だけど彼らには僕らの失つてしまつた心の豊かさが確かににある。それは何というか、よそ者、外国人である僕が突然訪れても笑顔で受け入れ歓迎してくれる寛容さ、心のゆとり。友人の家に行き、握手をし挨拶をし腰をおろす。それだけで何だかホッとする。あの気持ちは……幸せ? 何だろう。

発展途上国に対し先進諸国は開発のための援助を続けていた。多くがその国の近代化・欧米化を目的としたものである。農作物の生産性を上げるために機械を導入し肥料をばらまく。工場誘致のために森林を開き道を通す。アフリカにはアフリカのテンボ、性質にあつた発展の方向があるんじやなからうか。異国での生活

は考える時間をたっぷり与えてくれた。僕は現在はNGO(非政府援助団体)の一つである「(社)協力隊を育てる会」にいる。世界40カ国で活動する1700名程の青年海外協力隊員たちを応援しながら本年九月からの留学に向か準備をすすめている所である。将来国際機関で働くワンステップにするために、オタワ大学大学院にて国際開発協力について学ぶ予定である。

日本に戻ってから一年余り。そして出発の日まであと三ヶ月。三年前、青年海外協力隊獣医隊員として西アフリカ・セネガル共和国へ。二年間、水道、電気のない村で、村人と時にはぶつかり、酒を酌み交わし、助け合い過ごしてきた。満月の晩の巨大で明るい月。

月のない夜には息が詰まるくらいに空一杯にちらばる星たち。黒くぶ厚い雲が空を覆い激しい雨が地上を打ち、乾期には枯れ草を焦がす強烈な太陽。

一日中視界を遮り大気を黄色に染める砂風。みんなアフリカだった。そこに住む人々からは多くの事を学んだ気がする。自然に逆らわない、あるがままの生き方。よく言われる事だけど彼らには僕らの失つてしまつた心の豊かさが確かににある。それは何

というか、よそ者、外国人である僕が突然訪れても笑顔で受け入れ歓迎してくれる寛容さ、心のゆとり。友人の家に行き、握手をし挨拶をし腰をおろす。それだけで何だかホッとする。あの気持ちは……幸せ? 何だろう。

発展途上国に対し先進諸国は開発のための援助を続けていた。多くがその国の近代化・欧米化を目的としたものである。

農作物の生産性を上げるために機械を導入し肥料をばらまく。工場誘致のために森林を開き道を通す。アフリカにはアフリカのテンボ、性質にあつた発展の方向があるんじやなからうか。異国での生活

「社会人一年生として」

20回生 松岡真宏

不快なベル音と

伴に始まる私の朝。

学生時代に怠惰を

覚えた私の体には、

午前五時の起床は厳しい。それでも、鏡

の中でネクタイを締める自分を見ると、

社会人になつたんだなあ」という実感

が込み上げて来る。悩みに悩んだ挙げ句、

シンクタンクの研究員(証券アナリスト)としての道を選んだ訳だが、後悔は

するまいと自分に言い聞かせている。

さて、日々の多忙なジョブの中で、

「自分」というものを、いかにバランス

良く保つていく事ができるかという事が、

私の一生の課題であると私自身は認識し

ている。人間は忙しさの中で判断力を失

い、身边で生じる様々な事象によって、

「自分」を曖昧さ・混沌の中に埋没させてしまう傾向があり、私もその例に洩れ

ない。その防衛策としては、身边で生じた事象をいかに好意的に自分の中に内包化するかという事だと思われる。自分に

象には様々な側面が存在している故、好意的に受け取る事も可能であり、そうする事が自分をネガティヴな行動から脱却させる唯一の方法なのではなかろうか。

そこで、甚だ憎悪ながら、私の大切にしている言葉を紹介させて頂こうと思う。

仏教の言葉に「孵化の機」という言葉がある。これは孵化の際に親鳥が卵の殻をつついて孵化の助けを行う事で、又となる機会の事を暗示している。人間は、多様な可能性をいう籠を内包した卵を沢山

持つている。自分の外部で生じた様々な逆境的事象はまさに「孵化の機」の親鳥であり、我々の可能性を引き出さんとしで我々の内なる卵をつづいているのである。但し、親鳥が外からつづいただけでは離は孵らないのであり、離が卵の中から自らつづつはじめて、孵化が成就される。故に、我々も「孵化の機」に臨んで、自分の内から、自ら殻をつづいて破裂なくてはならないのであり、沢山の逆境に遭遇し、自ら殻をつづく事によつて

沢山の自分の可能性が開花すると考えられる。こうする事によって、人間は外部事象の好意的内部化が可能になり、人生におけるジャイアントステップを確立できるのではないか。

私は甚大なる意味で「孵化の機」を授けて下さった母校が、今後共益々発展され、又一人でも多くの我が後輩たちが各々の「孵化の機」に臨み、自らの可能性を十分に發揮される事を切に期待してしまいます。(野村総合研究所勤務)

大学生活の楽しい点といえば、やはり勉強をあまりしなくてよいことでしょう。

とはいっても、遊んでばかりいると

いう意味ではなく、高校での人試用のいわばおしつけられる勉強を脱して、自分

の興味ある分野の勉強ができるというこ

とです。先日は、学部の学外実習という企画で一泊二日で地域医療を見学してきました。主に寝たきり老人の往診に立ち

あい、地域医療の実態を知ることができ、とても良い経験になりました。

ここから少し西高での思い出について書こうと思います。一番の思い出は西高祭でしょう。今思えば西高祭は本当に素晴らしいほど意義のある行事でした。リーダーの踊りを終えたとき、マスクコットを完成させたときの満足感は忘れることができません。今でも私は西高祭に誇りを持っています。

最近、一部で西高祭の縮小が叫ばれて

いるようですが、後輩の皆さんも協力し

て、西高祭をもつとすばらしいものにし、それを西高の発展に結びつけていくことを願っています。

いる在校生の皆さんを見ては頗もしく思いました。

さて、私が大学に入學してからという

もの普段はアルバイト、コンバ、サークル、自動車免許などで追いまくられ、たまの土・日曜日も友人の下宿で泊りこむ

という放漫な生活を送っています。最近またが、時々高校時代の勉強と部活動にあけられた規則正しい生活(?)をな

はようやくこのような生活にも慣れてき

ました。

まことに、毎日このように生活を送っています。最近またが、時々高校時代の勉強と部活動にあけられた規則正しい生活(?)をな

はようやくこのような生活にも慣れてき

ました。

(名大医学部在学)

昨年度の総会について

平成元年度の同窓会総会は、八月十三日、真清田神社参集殿を会場として実施されました。例年通り、真夏らしい暑い一日でした。一年から総会を盛りあげる一つの方策として、特定の卒業回が総会の中で学年同窓会を企画しており、昨年度は第三・六・八回生（全日制）が予定したのですが、あいにくそれ準備が行き届かず、結局不発に終ってしまいました。そのことも影響してか、今回の参加者は全部で六〇名。その前の総会が一〇〇名近くの参加者を集め、盛会だったことを考えると、今回は寂しい限りです。にもかかわらず、昨年度の総会には旧職員・現職員の先生方が、ご多忙の中、多数出席してくださいました。ここで改めてお礼を申し上げるとともに、先生方の御足労に報いるため、一般会員の積極的な参加をお願いしたいと思います。

さて、総会は正午すぎにはじまり、あいさつを経て議事に移り、事業報告や会計報告、さらに事業計画や予算案がありついで承認されました。議事の後、写真撮影をおこない、ひきつづき懇親会にはいりました。参加者が少なかつたとはいえ、各テーブルでは師弟交えて思い出話などに花が咲き、しばし時間の経過も忘れてしまうほどでした。最後は、なつかしい校歌を高らかに歌い、万歳三唱で会を締めくくりました。

まだ高校時代のノスタルジアに浸る歳ではないとか、用事があつてとか、いろいろな理由で、毎年、全体の数からすれ

ばほんの少数の人しか総会に参加していません。あるいは、総会には出ないがクラス会には出るという人もいるでしょう。総会後の懇親会の中でクラス会を実施することも可能です。現在、役員・幹事・事務局一同、若い一宮西高校同窓会を盛りあげていこうと懸命に努力しています。そのあたりの意を汲んでいただけ、今年度以降の総会には多数の方々の出席をお願いいたします。

昨年度総会の出席者

（敬称略）

特別会員

- 旧職員 浅野弘、樋田豊、深川恵造、南部博、後藤幸男、高井章、矢内乃武夫、宇佐見忠雄
- 現職員 林幸男、伊藤幸雄、酒井正、日本松素、岩田隆、岩田幸雄、山田裕、山内清生、今枝義光、金子秀夫、平松雅夫

一般会員

●全日制

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 第1回生 | 山内進、早川喜久代、 |
| 第2回生 | 春日井快幸 |
| 第3回生 | 傍島章介、小川健一、松山猛、鶴見秀子 |
| 第6回生 | 浅野良二、永井清澄 |
| 第7回生 | 川出孝行 |
| 第8回生 | 則竹功雄、徳永邦彦 |
| 第9回生 | 松平康彦、戸本深雪、宮地好枝、新美明美、河村咲枝、水野由美子 |
| 第10回生 | 小島敏弘、田辺宣明、岩田京次、加藤綾、沢田和子、後藤愛子、坂川典子、浅野み |

第12回生 伊藤剛
第14回生 丹羽徹、楠田一千代
第16回生 市原博司

第17回生 山田克博
第20回生 小島健志

第21回生 別府正弘、関口顯治、山田耕平、山田典永

第22回生 黒田恵美子、三枝美紀

第23回生 結城治宏、河村治代

はる、柳繁世

平成元年度 東京支部会の報告

昨年11月25日（土）、新宿区高田馬場にある「海のみ」にて秋季東京支部会が開催されました。参加者は、学校側代表の2名を含め、全部で24名。約2時間にわたって親睦を深めました。現在、東京

本年度総会の出席予定者

初のベスト8進出

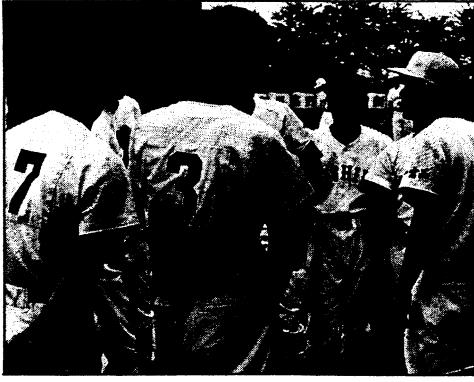
野球部監督 今枝義光

西高に着任して以来7年目の昨年、夏の甲子園予選で私自身の目標だったベスト8に初めて進出することができた。ト8に初めて進出することができた。その結果、次に掲げる皆様から出席予定のご返事をいただきました。恩師の方々が数多く参加されますので、一般会員の皆様もふるつてご参加ください。

○竹内信之、浅野弘、杉浦一守、樋田豊、加藤十八、柘植敬一郎、鶴田功、林幸男、戸田元照、深川恵造、南部博、山中千代一、大野達郎、佐藤五郎、伊藤克也（敬称略）
なお、打診させていただいた旧職員の皆様は、勝手ながら、歴代の校長先生、最近10年間に転出された先生方、および10年以上一宮西高校に勤務された先生方に限らせていただきましたので、ご了承ください。

このほか、例年、現職員の先生方も多くの現況を知るとともに懐かしい高校時代を思い出させてくれる。現部員は四十一名、ますます強い伝統を築くとともに夢

支部会は、東京近辺に在住の大学生によって運営されていますが、今後は社会人にまで規模を拡大していくと考えています。



計報

特別会員の大鹿高雄先生には本年一月に逝去されました。また早川博史先生には本年六月に逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

大学合格者数一覧表 H.2.3.31

()内は浪人(内数)

| （国 立 大 学） | | | | 大 阪 大 | 2(2) | 2(1) | 1(1) | 2(2) | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------------|---------|----------|----------|----------|
| 入試年度 | H2年度 | H元年度 | S3年度 | S2年度 | 奈 良 女 子 大 | 2(1) | 1(1) | 1 | 4 |
| 帝 広 善 産 大 | | 2(1) | 1(1) | | 奈 良 教 育 大 | 1 | | | 1(1) |
| 室 工 大 | | 1(1) | | | 京 都 工 机 大 | | | 2(2) | |
| 北 海 道 大 | 2 | 5(2) | 6(4) | 5(1) | 广 岛 大 | | 2(1) | | 4(2) |
| 東 北 大 | 5(2) | 2 | 6(5) | 5 | 山 口 大 | | 1 | | |
| 山 形 大 | 1 | | | | 香 川 医 科 大 | | 1(1) | | |
| 筑 波 大 | | 3 | 4(2) | 8 | 九 州 茅 工 大 | | | 1(1) | 1 |
| 茨 城 大 | | | | 1(1) | 佐 贺 医 科 大 | | | 1(1) | |
| 千 葉 大 | 3(3) | | | 2 | 宫 嶺 医 科 大 | 1(1) | | | |
| 東 京 大 | 3(1) | 1 | 4(2) | 3(1) | 九 州 大 | | | 1(1) | |
| 東 京 国 外 大 | | 2(1) | | 1 | 九 州 工 大 | | | 1(1) | |
| 埼 玉 大 | | 1 | | | そ の 他 | 12(6) | 1 | | |
| 東 京 工 大 | 1 | | 4(1) | 3(2) | （公 立 大 学） | | | | |
| お茶の水女大 | | | 2 | 2(1) | 入 試 年 度 | H2 年 度 | H 元 年 度 | S3 年 度 | S2 年 度 |
| 一 横 大 | 3(1) | 2(2) | 1(1) | 3(2) | 東 京 都 立 大 | 2(1) | | 1(1) | 2(1) |
| 東 京 農 工 大 | 1 | 2(2) | 3 | 4(2) | 横 浜 市 大 | 2 | 1 | | |
| 東 京 水 産 大 | 1 | 1 | | | 都 留 文 大 | | | 1(1) | 1 |
| 横 浜 国 大 | 4(2) | 2(1) | 3(3) | 4(2) | 岐 阜 茅 大 | 3 | 10(3) | 7(4) | 7(2) |
| 富 山 大 | 1 | | 2(1) | 1 | 静 岐 県 大 | | | | 1 |
| 富 山 医 科 大 | | 1(1) | | | 爱 知 県 大 | 7 | 10 | 6 | 7 |
| 金 沢 大 | 5(1) | 4(1) | 6(3) | 3 | 爱 知 県 茅 大 | | | | 1(1) |
| 山 犀 大 | 1(1) | | 1(1) | 1 | 名 古 屋 市 大 | 14(3) | 14(3) | 11(2) | 12(2) |
| 福 井 大 | 2 | 3(1) | 2 | | 東 京 都 立 大 | | | | 2 |
| 福 井 医 科 大 | | | | 1(1) | 大 阪 府 大 | | | 1(1) | 1 |
| 信 州 大 | 2(1) | 1 | 2(1) | 5(1) | 大 阪 市 立 大 | | | | |
| 岐 阜 大 | 33(6) | 26(4) | 32(8) | 25(5) | 京 都 都 立 大 | 2 | | | 1 |
| 浜 松 医 科 大 | | | | 1 | 神 戸 外 语 大 | 1 | | | 2 |
| 静 岐 県 大 | 8(1) | 7(2) | 14(7) | 9(2) | | | | | |
| 名 古 屋 大 | 6703 | 55(8) | 5309 | 7000 | | | | | |
| 爱 知 教 育 大 | 28(4) | 40(2) | 24(1) | 24 | 合 计 | H2 年 度 | H 元 年 度 | S3 年 度 | S2 年 度 |
| 名 古 屋 工 大 | 18(1) | 2801 | 32(8) | 29(8) | 国 立 大 学 | 253 | 24252 | 265(8) | 26784 |
| 三 重 大 | 30(4) | 31(5) | 28(2) | 24(4) | 公 立 大 学 | 31(4) | 37(7) | 28(9) | 36(6) |
| 滋 賀 大 | 6(1) | 6(1) | 4 | 6(1) | 私 立 大 学 | S5(175) | 364(121) | 468(128) | 464(164) |
| 京 都 大 | 7(3) | 8(2) | 1902 | 11(4) | 公 立 短 大 | 87 | 108(4) | 73(3) | 66(2) |
| 神 戸 大 | 1(1) | | 3(3) | 1 | 私 立 短 大 | 165 | 113(2) | 93 | 99 |
| 大阪 外語大 | 2 | 1 | 1 | 2(1) | 各 種 専 門 学 校 | 15 | 15 | 37 | 28 |

202019181715151313111110987644321
桑浜大時海向半岡岐明旭一可中五菊東一岡岐千
松垣哲 朝 須 宮崎
名 北 郡 陽 山 岐 北 和 丘 宮 児 村 木 里 海 西 北 卓 種

242430333436363939424251535458596565727881
合 格

171720192323202524281928283036422947504840
前 期

7710141113161415142323252422173618223041
今 年
十 後 A 期

302642325634306128324560643253718853628095
數 昨 年

192313169141972116128516104210631
順昨
位 年

()内は浪人(内数)

()内は浪人(内数)